

# SynchRoid サービスに関する重要事項説明書

✓本書面は SynchRoid サービスのお申込みやご利用開始前にご留意頂きたい事項をご説明致します

✓なお、お申込み時には別途ご提示する利用規約一式を必ずご確認ください

## 1、ソフトウェア構成

SynchRoid ソフトウェアは以下の要素から構成されています。

ベーシックパック、ベーシックミニパック、ベーシックミニパック+、ライトパック、LGWAN ライトそれぞれで利用できる機能が異なります。

※バージョン 10.4.0.1 より、Device Automation の名称は Desktop Automation へ変更となりましたので、それ以前のバージョンをご利用の場合、Desktop Automation を Device Automation へ読み替えて頂きますようお願い致します。

構成要素	機能	用途	実行環境	ベーシックパック	ベーシックミニパック	ライトパック、LGWAN ライト
①Design Studio (DS)	開発・実行	ロボット開発者による ロボットの作成・動作確認など (ライトパックの場合はロボットの実行も行う)	クライアント	○	○	○
②Desktop Automation (DA) ※2		ロボットから Windows アプリケーションなどの GUI アプリケーションを操作するための環境				
③Robo Server (RS)	実行	ロボットが動作するための環境	サーバー	○	○※3	×
④Management Console (MC)	管理	ロボット利用者によるロボットの操作 - 自動化処理の実行 (Kaplet 機能) - スケジュール設定 等 管理者による各種管理機能の操作 - ユーザ管理 (アカウント管理など) - ロボット管理 (スケジュール設定など) 等				
	認証	Design Studio を利用する際のライセンスの認証				
				○	○	※1

※1 ライトパック、LGWAN ライトの認証サーバーは、ソフトバンクより標準で提供します。お客様でのご準備は不要です。

※2 Desktop Automation を利用する場合は、ロボットを作成するための端末 (Design Studio) とは別に、Desktop Automation 用の端末 (または VM (仮想端末) のイメージ) が必要になります。

※3 ベーシックミニパックおよびベーシックミニパック+は管理者権限の一部に制約があります。

## 2、システム要件

1の①～④の構成要素をご利用頂くにあたり、クライアント・サーバーで満たすべきシステム要件は以下です。

端末・サーバーが要件を満たしていることをご確認ください。

### V10.4

#### ①Design Studio, ③Robo Server

項目	要件
端末タイプ	・物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Dual-core 1.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・4GB RAM (最小スペック) / 8GB RAM (推奨スペック)
ディスク容量	・40GB 以上
OS	・ Windows 7 Enterprise (32-bit) / Windows 7 Enterprise (64-bit) ・ Windows 7 Professional (32-bit) / Windows 7 Professional (64-bit) ・ Windows 7 Ultimate (32-bit) / Windows 7 Ultimate (64-bit) ・ Windows 10 Enterprise (64-bit) ・ WINDOWS Server 2016 ・ WINDOWS Server 2019
その他	・ Windows 7 で利用する場合は、C ランタイムの更新プログラム (KB2999226) が必要です。 Windows10、Windows Server 2016 以降の場合は「KB2999226」のセットアップは不要となります。

#### ②Desktop Automation

項目	要件
端末タイプ	・物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Dual-core 1.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) 推奨スペックは、自動化するアプリケーションの要件に準拠
RAM 容量	・4GB RAM (最小スペック) / 推奨スペックは、自動化するアプリケーションの要件に準拠
ディスク容量	・40GB 以上

OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows 7 Professional, Enterprise or Ultimate (32-bit) / Windows 7 Professional, Enterprise or Ultimate (64-bit)</li> <li>・ Windows 10 Pro or Enterprise (32-bit) / Windows 10 Pro or Enterprise (64-bit)</li> <li>・ Windows Server 2012</li> <li>・ Windows Server 2016</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows 7 で利用する場合は、C ランタイムの更新プログラム (KB2999226) が必要です。</li> <li>Windows10、Windows Server 2016 以降の場合は「KB2999226」のセットアップは不要となります。</li> </ul>

#### ④Management Console (Tomcat 構築環境)

項目	要件
サーバータイプ	・ 物理サーバーまたは仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Dual-core 1.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・ 4GB RAM (最小スペック) / 8GB RAM (推奨スペック) (RS と同一サーバーとする場合、16GB 以上推奨)
ディスク容量	・ 100GB 以上
OS	・ Windows Server 2016 / 2019
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Management Console と Robo Server は、同一サーバーもしくは別サーバーのいずれの構成も可能。</li> <li>(同一サーバーで構成する場合、RAM 容量は 16GB 以上推奨)</li> </ul>

### V10.7

#### ①Design Studio

項目	要件
端末タイプ	・ 物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・ 8GB RAM (最小スペック) / 16GB RAM (推奨スペック)
ディスク容量	・ 40GB 以上
OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows 7 Enterprise (32-bit) / Windows 7 Enterprise (64-bit)</li> <li>・ Windows 7 Professional (32-bit) / Windows 7 Professional (64-bit)</li> <li>・ Windows 7 Ultimate (32-bit) / Windows 7 Ultimate (64-bit)</li> <li>・ Windows 10 Enterprise (64-bit)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows 7 で利用する場合は、C ランタイムの更新プログラム (KB2999226) が必要です。</li> <li>Windows10 以降の場合は「KB2999226」のセットアップは不要となります。</li> </ul>

#### ②Desktop Automation

項目	要件
端末タイプ	・ 物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) 推奨スペックは、自動化するアプリケーションの要件に準拠
RAM 容量	・ 8GB RAM (最小スペック) / 推奨スペックは、自動化するアプリケーションの要件に準拠
ディスク容量	・ 40GB 以上
OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows 7 Professional, Enterprise or Ultimate (32-bit) / Windows 7 Professional, Enterprise or Ultimate (64-bit)</li> <li>・ Windows 10 Pro or Enterprise (32-bit) / Windows 10 Pro or Enterprise (64-bit)</li> <li>・ Windows Server 2012</li> <li>・ Windows Server 2016</li> <li>・ Windows Server 2019</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows 7 で利用する場合は、C ランタイムの更新プログラム (KB2999226) が必要です。</li> <li>Windows10、Windows Server 2016 以降の場合は「KB2999226」のセットアップは不要となります。</li> </ul>

#### ③Robo Server

項目	要件
端末タイプ	・ 物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・ 8GB RAM (最小スペック) / 16GB RAM (推奨スペック)
ディスク容量	・ 40GB 以上
OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows 7 Enterprise (32-bit) / Windows 7 Enterprise (64-bit)</li> <li>・ Windows 7 Professional (32-bit) / Windows 7 Professional (64-bit)</li> <li>・ Windows 7 Ultimate (32-bit) / Windows 7 Ultimate (64-bit)</li> <li>・ Windows 10 Enterprise (64-bit)</li> <li>・ Windows Server 2016</li> <li>・ Windows Server 2019</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows 7 で利用する場合は、C ランタイムの更新プログラム (KB2999226) が必要です。</li> <li>Windows10、Windows Server 2016 以降の場合は「KB2999226」のセットアップは不要となります。</li> </ul>

#### ④Management Console (Tomcat 構築環境)

項目	要件
サーバータイプ	・物理サーバーまたは仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・8GB RAM (最小スペック) / 16GB RAM (推奨スペック) (RS と同一サーバーとする場合、16GB 以上推奨)
ディスク容量	・100GB 以上
OS	・Windows Server 2016 / 2019
その他	・Management Console と Robo Server は、同一サーバーもしくは別サーバーのいずれの構成も可能。 (同一サーバーで構成する場合、RAM 容量は 16GB 以上推奨)

### V11.1/V11.3

#### ①Design Studio

項目	要件
端末タイプ	・物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・8GB RAM (最小スペック) / 16GB RAM (推奨スペック)
ディスク容量	・40GB 以上
OS	・Windows 10 Enterprise (64-bit)
その他	

#### ②Desktop Automation

項目	要件
端末タイプ	・物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) 推奨スペックは、自動化するアプリケーションの要件に準拠
RAM 容量	・8GB RAM (最小スペック) / 推奨スペックは、自動化するアプリケーションの要件に準拠
ディスク容量	・40GB 以上
OS	・Windows 10 Pro or Enterprise (32-bit)※ / Windows 10 Pro or Enterprise (64-bit) ・Windows Server 2016 ・Windows Server 2019
その他	

※32-bit は ver 11.1 のみ対応となり、ver 11.3 では非対応となります。

#### ③Robo Server

項目	要件
端末タイプ	・物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・8GB RAM (最小スペック) / 16GB RAM (推奨スペック)
ディスク容量	・40GB 以上
OS	・Windows 10 Enterprise (64-bit) ・Windows Server 2016 ・Windows Server 2019
その他	

#### ④Management Console, Kapplets (Tomcat 構築環境)

項目	要件
サーバータイプ	・物理サーバーまたは仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・8GB RAM (最小スペック) / 16GB RAM (推奨スペック) (RS と同一サーバーとする場合、16GB 以上推奨)
ディスク容量	・100GB 以上
OS	・Windows Server 2016 / 2019
その他	・Management Console と Robo Server は、同一サーバーもしくは別サーバーのいずれの構成も可能。 (同一サーバーで構成する場合、RAM 容量は 16GB 以上推奨)

### V11.4

#### ①Design Studio

項目	要件
端末タイプ	・物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)

RAM 容量	・ 16GB 以上
ディスク容量	・ 40GB 以上
OS	・ Windows 10 Enterprise (64-bit) ・ Windows 11 Enterprise
その他	

## ②Desktop Automation

項目	要件
端末タイプ	・ 物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) 推奨スペックは、自動化するアプリケーションの要件に準拠
RAM 容量	・ 8GB RAM (最小スペック) / 推奨スペックは、自動化するアプリケーションの要件に準拠
ディスク容量	・ 40GB 以上
OS	・ Windows 10 Pro or Enterprise (64-bit) ・ Windows 11 Pro or Enterprise ・ Windows Server 2019 ・ Windows Server 2022
その他	

## ③Robo Server

項目	要件
端末タイプ	・ 物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・ 8GB RAM (最小スペック) / 16GB RAM (推奨スペック)
ディスク容量	・ 40GB 以上
OS	・ Windows 10 Pro or Enterprise (64-bit) ・ Windows 11 Pro or Enterprise ・ Windows Server 2019 ・ Windows Server 2022
その他	

## ④Management Console, Kapplets (Tomcat 構築環境)

項目	要件
サーバータイプ	・ 物理サーバーまたは仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・ 8GB RAM (最小スペック) / 16GB RAM (推奨スペック) (RS と同一サーバーとする場合、16GB 以上推奨)
ディスク容量	・ 100GB 以上
OS	・ Windows Server 2019 ・ Windows Server 2022
その他	・ Management Console と Robo Server は、同一サーバーもしくは別サーバーのいずれの構成も可能。 (同一サーバーで構成する場合、RAM 容量は 16GB 以上推奨)

## V11.5

### ①Design Studio

項目	要件
端末タイプ	・ 物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・ 16GB 以上
ディスク容量	・ 40GB 以上
OS	・ Microsoft Windows 11 Pro or Enterprise ・ Microsoft Windows 10 Pro or Enterprise (64 ビット)
その他	

## ②Desktop Automation

項目	要件
端末タイプ	・ 物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) 推奨スペックは、自動化するアプリケーションの要件に準拠
RAM 容量	・ 8GB RAM (最小スペック) / 推奨スペックは、自動化するアプリケーションの要件に準拠
ディスク容量	・ 40GB 以上
OS	・ Microsoft Windows 11 Pro or Enterprise ・ Microsoft Windows 10 Pro or Enterprise (64 ビット)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Microsoft Windows Server 2022</li> <li>・ Microsoft Windows Server 2019</li> </ul>
その他	

### ③Robo Server

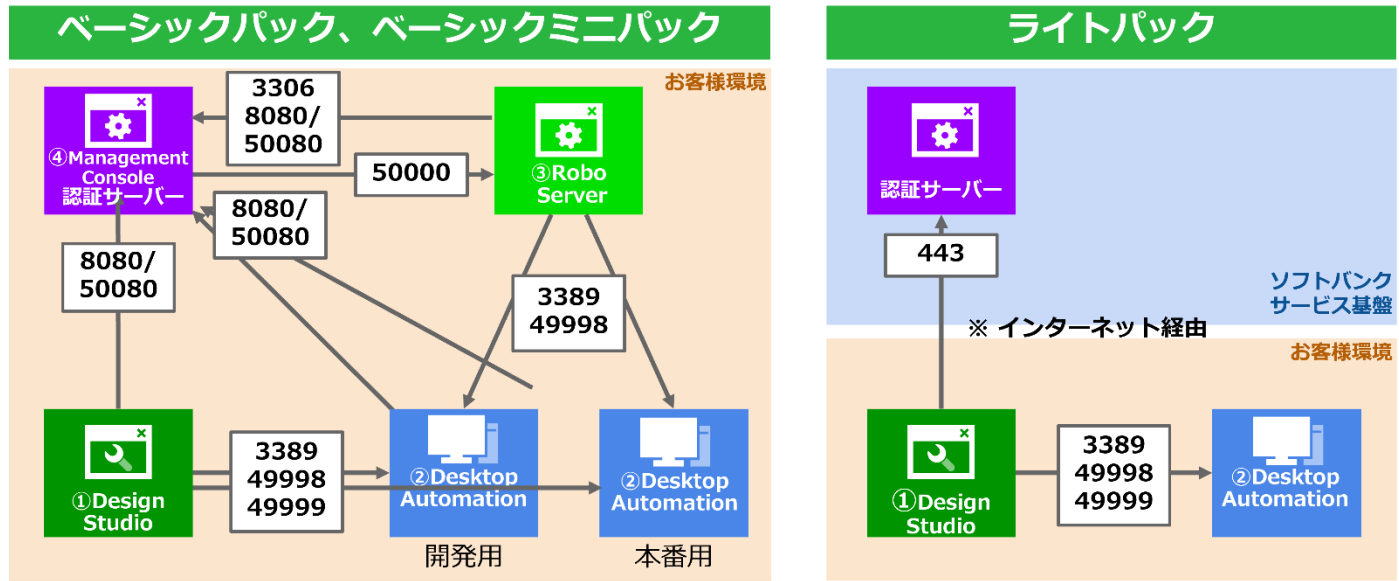
項目	要件
端末タイプ	・ 物理端末/仮想端末/物理サーバー/仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・ 8GB RAM (最小スペック) / 16GB RAM (推奨スペック)
ディスク容量	・ 40GB 以上
OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Microsoft Windows 11 Pro or Enterprise</li> <li>・ Microsoft Windows 10 Pro or Enterprise (64 ビット)</li> <li>・ Microsoft Windows Server 2022</li> <li>・ Microsoft Windows Server 2019</li> </ul>
その他	

### ④Management Console, Kapplets (Tomcat 構築環境)

項目	要件
サーバータイプ	・ 物理サーバーまたは仮想サーバー
CPU	動作周波数およびコア数: Intel Core i5 2.8 GHz CPU (or AMD equivalent) (最小スペック) Intel Core i5 4 Cores 4 Threads 2.8 GHz (推奨スペック)
RAM 容量	・ 8GB RAM (最小スペック) / 16GB RAM (推奨スペック) (RS と同一サーバーとする場合、16GB 以上推奨)
ディスク容量	・ 100GB 以上
OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2019</li> <li>・ Windows Server 2022</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Management Console と Robo Server は、同一サーバーもしくは別サーバーのいずれの構成も可能。(同一サーバーで構成する場合、RAM 容量は 16GB 以上推奨)</li> </ul>

3、通信要件

SynchROID を構成するソフトウェア間で下図の通信が行えることが必要になります。  
これらの通信が行えるように、お客様のシステム・ネットワークにおけるルーティング、通信のフィルタリング（ファイアウォール等）、名前解決等の環境設計・設定を適宜ご実施いただきますようお願い致します。  
※図中の数字は通信先のポート番号です。（製品のデフォルト値；プロトコルはいずれも TCP）



※標準的な通信のみを記載しており、業務システム等へのアクセスに関わる通信は含まれていません。  
※追加機能を利用する場合は、上記以外の通信要件が必要になる場合があります。  
※構成によって使用する通信ポートは 8080 と 50080 のいずれかとなります。必要に応じて詳細はお問い合わせください。

注意点

- ・ライトパックでは①Design Studio、認証サーバーの間の通信はインターネット経由です。
- ・ベーシックパック、ベーシックミニパック、ベーシックミニパック+をご利用の場合は③Robo Server ④Management Console 構築用のサーバーが別途必要です。ベーシックミニパック、ベーシックミニパック+は③Robo Server と ④Management Console が同一筐体であることが前提となります。

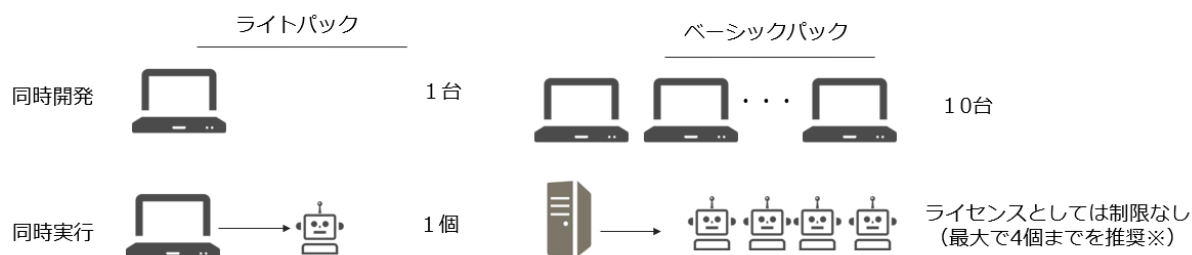
4、システム環境・ロボット利用

ベーシックパック、ベーシックミニパック、ベーシックミニパック+、ライトパック、LGWAN ライトご利用にあたり、必要なシステム環境とロボットの利用機能が異なります。

	ベーシックパック	ベーシックミニパック	ベーシックミニパック+	ライトパック、 LGWAN ライト
システム環境				
お客様側での サーバー要否	必要 ⇒導入コスト・負荷が一定レベル発生			不要 ⇒導入コスト・負荷は限定的
ロボット利用				
ロボットの同時開発	10 台 (ライセンス数に比例)	1 台 (オプションで追加可能)	3 台 (オプションで追加可能)	1 台
ロボットの最大開発数	無制限			無制限
ロボット実行環境	サーバー/デスクトップ			デスクトップ
ロボットの同時実行数	最大 4 個が推奨	1 個 (オプションで追加可能)	2 個 (オプションで追加可能)	1 個
管理機能 (ダッシュボード、スケジューラー、 ログ、ライセンス管理、ユーザ管理)	あり	あり (一部機能に制限あり)	あり (一部機能に制限あり)	なし

## 5、同時開発数、同時実行数

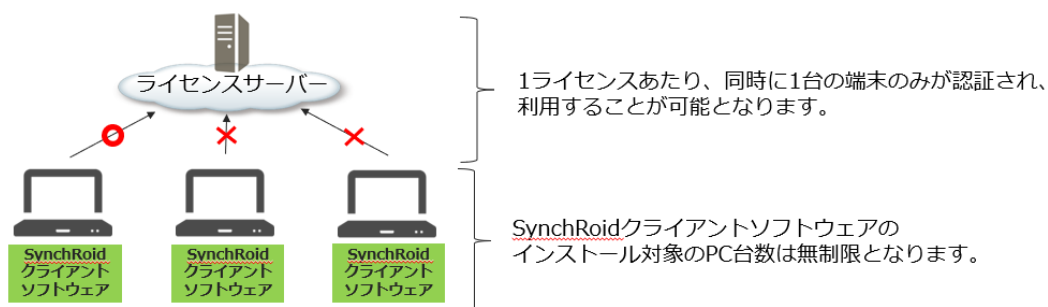
各ライセンスのロボットの同時開発数と同時実行数の考え方は以下となります。



※ベーシックパックでのロボット実行については、性能上の考慮から同時実行数を最大4までとして頂きますようお願い致します。



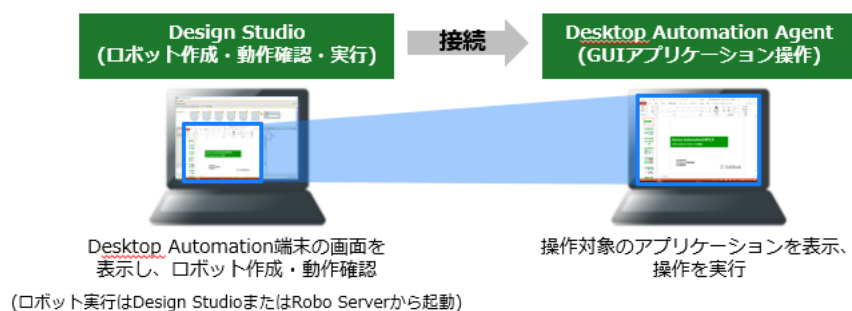
### ■ライトパックのライセンスの考え方の補足



RPAソフトウェアのインストールPC台数は無制限ですが、同時に利用できるのは（ライトパックの場合）1台です。

## 6、Desktop Automation 利用

- ・Desktop Automation とは Windows デスクトップアプリケーションやホストコンピュータを直接画面から操作する機能です。  
(ロボットは Design Studio または Robo Server から起動)



### 注意点

- ・「他の PC を遠隔で操作する」Robot を作成するには、遠隔操作される PC に Desktop Automation をインストールする必要があります。
- ・Desktop Automation を利用する場合、フォアグラウンドでのロボット実行となるため、Desktop Automation 端末（遠隔操作される側の端末）で別の操作を行うと、ロボットが正常に実行されない場合があります。  
(Desktop Automation の利用なしの場合はバックグラウンドでのロボット実行)

- ・そのため、ベーシックパック、ベーシックミニパック、ベーシックミニパック+で Desktop Automation を利用したロボットの開発を行う場合は、本番用の端末とは別に開発用の端末を用意頂くことを推奨します。
- ・Desktop Automation のバージョン 10.4.0.1 より、Desktop Automation 用の端末を 2 台用意できない場合、開発・実行を 1 台で行うこともできます。但し、Desktop Automation 用の端末を用意した場合に比べ、操作性が低いため開発に時間がかかるという懸念があり、お勧めはしていません。

## 7、法人内ライセンス利用

- ・SynchRoid ソフトウェアの利用にあたってはご契約企業様の法人内でのみご利用頂けます。
- ご契約企業様と資本関係にある企業であってもサブライセンス、譲渡、転貸することはできません。

## 8、LGWAN ライトご利用の注意事項

- ・LGWAN ライトはLGWAN 環境での利用を想定しています。
- RPA ラーニング for Business、プレミアムサポートを利用する場合、LGWAN ではなく、インターネットに接続できる環境にて利用頂きます。プレミアムサポートは LGWAN 環境の DS 画面を共有する必要がありますので、詳細については弊社営業担当にご確認ください。

## 9、契約期間と解約方法

- ・ライトパック、LGWAN ライト、ベーシックパック、ベーシックミニパック、ベーシックミニパック+の契約期間の考え方は下記です。

### ライトパック、LGWAN ライト

	1 か月目	2 か月目	3 か月目	4 か月目	5 か月目	6 か月目	7 か月目	8 か月目	9 か月目	10 か月目	11 か月目	12 か月目	13 か月目	14 か月目	15 か月目
契約期間	契約成立日からライセンス契約満了日まで（初年度最大 13 カ月）													次年度以降 12 カ月	
	自動更新														
請求書発行			○ 初年度分												○ 次年度分

### ベーシックパック、ベーシックミニパック、ベーシックミニパック+

	1 か月目	2 か月目	3 か月目	4 か月目	5 か月目	6 か月目	7 か月目	8 か月目	9 か月目	10 か月目	11 か月目	12 か月目	13 か月目	14 か月目	15 か月目
契約期間	契約成立日からライセンス契約満了日まで（初年度最大 13 カ月）													次年度以降 12 カ月	
	自動更新														
請求書発行			○ 初年度 1 回目	○ 初年度 2 回目	○ 初年度 3 回目	○ 初年度 4 回目	○ 初年度 5 回目	○ 初年度 6 回目	○ 初年度 7 回目	○ 初年度 8 回目	○ 初年度 9 回目	○ 初年度 10 回目	○ 初年度 11 回目	○ 初年度 12 回目	○ 次年度 1 回目

### ロボット同時実行数 追加、ロボット開発ツール同時利用数 追加（ベーシックミニパック専用オプションサービス）

	1 か月目	2 か月目	3 か月目	4 か月目	5 か月目	6 か月目	7 か月目	8 か月目	9 か月目	10 か月目	11 か月目	12 か月目	13 か月目	14 か月目	15 か月目
契約期間	契約成立日からライセンス契約満了日まで（初年度最大 13 カ月）													次年度以降 12 カ月	
	自動更新														
請求書発行			○ 初年度 1 回目	○ 初年度 2 回目	○ 初年度 3 回目	○ 初年度 4 回目	○ 初年度 5 回目	○ 初年度 6 回目	○ 初年度 7 回目	○ 初年度 8 回目	○ 初年度 9 回目	○ 初年度 10 回目	○ 初年度 11 回目	○ 初年度 12 回目	○ 次年度 1 回目

### 請求について

請求書の発行月は上図の通りです。請求書発行月の月初 6 日営業日に請求書が発行され、請求書発行当月末日が支払い期日となります。

### 解約方法について

ライセンスパックおよびロボット同時実行数追加、ロボット開発ツール同時利用数追加はお客様からのお申し出がない限り、次年度以降も契約期間が自動更新されます。

更新のタイミングで解約をご希望のお客様は以下のご対応をお願い致します。

- ① 契約満了日の前月 15 日までに、弊社担当に解約の意思をお伝え頂く（上図では 12 か月目）
- ② 弊社担当よりお渡しする解約申請書に必要事項を記載の上、契約満了当月の 15 日までに提出頂く（上図では 13 か月目）
- ③ 契約終了後 1 か月以内に SynchRoid ソフトウェアおよびその複製物をすべて消去頂いた上で、破棄の証跡として当社指定の破棄証明書をご提出頂く（上図では 14 か月目）

## 10、キャンセル・日程変更について

- ・お申し込み後に、お客様都合でサービスのキャンセルをされる場合、お客様より以下のキャンセル料をいただきます。（SynchRoid 初期設定サービス、開発スキルトレーニング、開発スキルトレーニング教室版、開発支援サービス、業務選定支援サービス、初期構築作業、サーバ設定変更）

- (1) サービス実施予定日の 6 営業日前まで…なし
- (2) サービス実施予定日の 5～2 営業日前まで…サービス料金の 50%
- (3) サービス実施予定日の前日・当日…サービス料金の 100%

- ・実施日確定後、実施日の 7 営業日前までにお客様が実施日の変更を申し出た場合、別に定めのない限り日程変更が 1 回まで可能です。
- ・営業担当者・講師またはエンジニアの出張を伴う解約、日程変更に関してはキャンセル料に加え、交通費、宿泊費、会場等キャンセル料（手数料



を含む。)、制作済み教材費等の本サービス準備費、見積書に記載された企画準備費、利用機材の配送料、その他発生するすべての実費相当額をいただきます。

※開発スキルトレーニング教室版についてのみ、上記（１）～（３）は適用せず、以下を適用します。

（１） サービス実施予定日の 8 歴日前まで…なし

（２） サービス実施予定日の 7 歴日前～受講当日まで…サービス料金の 100%

・ レンタル PC 送付後の解約、日程変更に関しては、前号のキャンセル料に加え PC 送料を申し受けます。

**以上**